

# 職員研修

## ～課題探究の進め方～

4月7日(水)、今年度最初のSSH 研究開発に関する職員研修を行いました。研究開発第1期の4年次にあたる今年度は、3年間の実践を踏まえて、課題探究の進め方をメインに研修を行いました。

まず、本校の探究スタイルである「生徒が自分達で問題を見つけ、試行錯誤を繰り返しながら取り組み、必要なスキルはその都度身につけていく」を全体で確認しました。

次に昨年度課題として上がった「上手にテーマ設定できていない班が多い」「探究活動の際の助言やサポートが難しかった」を改善するための方法として『研究の簡易分析』に取り組みました。これは、研究の柱である「何のために(目的)、何をしたら(実験・観察・調査)、どうなったのか(結果)。そこから何が言えるのか(結論)」について、SSH 企画部で用意した論文や口頭発表を使って埋めていくというものです。優れた研究では簡単に埋めることができますが、不十分な研究ではなかなか埋めることができません。本校ではこの性質を利用して、テーマを設定する段階で探究見通し確認プリント(図1)を積極的に活用することを考えています。そうすることで「質の高い探究につながるテーマ設定」や「探究の際の有効なサポート」につながると考えるからです。

まだまだ研究開発は途中段階ですが、生徒の資質向上のため全職員で研究開発に取り組んで参ります。皆様からのご指導・ご助言をお待ちしております。

1 何を目的に研究するのか(目的)	
<input type="text"/>	
2 何をしたら(実験や観察・調査)	3 どうなったのか(結果)
<input type="text"/>	<input type="text"/>
4 そこから何が言えるのか(結論)	
<input type="text"/>	

図1 探究見通し確認プリント

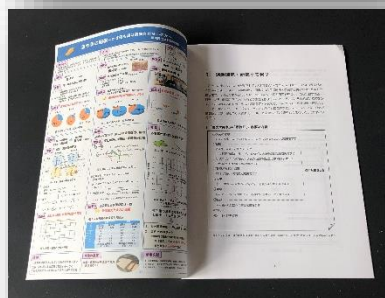


写真 上：研修の様子

下：開発冊子「探究の森の歩き方」